

校訓	盡己	令和6年度学校通信 「松中だより」 第13号	発行日	令和6年10月3日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

## 【第50回体育大会】

第50回体育大会が終了しました。平日の開催にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご来場いただきました。ありがとうございました。

今年は例年になく残暑が続き、グラウンドで練習ができたのは9月25日以降の1週間ほどでした。各学年とも行事予定表をみながら、残りの時間を確認しながらの練習となりました。

2学期の始業式で話しましたが、人は目標を達成して幸せになるのではなく、目標に向かうことによって幸せになるそうです。つまり、結果よりもその過程が大切だということです。今日までの、学年、クラスの取組はいかがでしたか？自分で考え、判断し、責任を持って行動することはできましたか？

取り組んできた日々をしっかりと振り返り、一人ひとりがさらに良い学校生活が送れるように頑張ってください。お疲れ様でした。



## 【第50回体育大会アンケート】

今年度の体育大会は、平日開催、給食の提供、プログラムの見直しなど、例年と違う取組がたくさんありました。体育大会を参観いただいた感想や、お気づきになった点をお聞かせください。以下のQRコードよりご回答ください。よろしくお願いいたします。10月8日（火）までにご回答ください。



## 【若い力】

今年度の体育大会はプログラムを大きく変更し実施されました。競技だけでなく、開閉会式も以前に比べると簡素化したのですが、「若い力斉唱」は今年も行われました。昨年も紹介しましたが、「若い力」は戦後間もない1947年石川県で行われた第2回国民体育大会で「国民みんなが心をひとつにしてこれからの日本を再建し、若い人たちが元気で、一生懸命に夢と希望を持って頑張ろう！」という思いを込めて作られ、歌われました。金沢市では80年近くも歌い継がれ、毎年市内小学校6年生が集う連合体育大会で、伝統の集団演技として今も披露されています。

石川県といえば能登地方が今年1月の地震、9月の集中豪雨により大きな被害が出ました。能登地方と金沢市は少し離れていますが、きっと同じ県民として一丸となって復興に取り組んおられることと思います。松中生の「若い力」の歌声が石川県の方々にも届き、復興の励みになればと思います。

若い力プロジェクト公式キャラクター

